この地から! この力!

直撃インタビュー

NPO法人 日本動物介護センター
【事務局：岐阜市日野南】

山口 常夫（やまぐち つねお）さん（理事長・訓練士）

上村 智恵子（うえむら ちえこ）さん（訓練士）

じゃがいも（災害救助犬）

★災害救助犬（ジャパンケネルクラブ認定）
福島県飯舘村出身 雑種のオス 6歳

東日本大震災で大きな被害を受けた福島県飯舘村で生まれ、岐阜市や県内で「災害救助犬」の訓練をしてきた「じゃがいも」が、今年の6月に、11回目の挑戦で認定試験に合格し、テレビや新聞などで大きな話題となりました。

そして8月には、故郷の福島県飯舘村のPR大使「飯舘村わんダフルまでい大使」（「までい」は方言で「心をこめて」の意味）に就任しました。

そんな「じゃがいも」について、岐阜市内にある日本動物介護センターの山口常夫さんと上村智恵子さんに話を聞きました。

災害救助の実演をするじゃがいも
9/23 動物愛護フェスティバルにて

「じゃがいも」を災害救助犬に育てようと思ったのはなぜですか?

被災地の福島県飯舘村で生まれたこの子が災害救助犬をめざし、合格して災害救助活動をすることが、ふるさとの飯舘村の人たちにとって、もしかしたら生きる励みになるのではないかと考えたからです。また、雑種犬で災害救助犬を育てるという訓練士としての自分自身のチャレンジでもありました。

そもそも被災地から犬を引き取ろうと思ったのはなぜですか?

原子力発電所の事故のため緊急避難をさせられた福島には、置き去りにされ、放浪している犬たちが多くいました。また、避難生活で飼い犬の世話ができず、悩んでいる飼い主さんが多くいました。そこで、避難所をまわって情報をあつめて、全部で48頭の犬を保護し、岐阜で預かりました。「じゃがいも」はそのなかの一頭で、その時は、まだ生まれたばかりの子犬でした。

「じゃがいも」と名付けたのはなぜですか?

子犬を預かってもらっているお礼にと、福島から特産品のじゃがいもが送られてきたことがきっかけでした。それから、ほかっておいても半分に割っても、芽がでて大地に根をはって、力強く育つ生命力の強いじゃがいものようにたくましく育ってほしいという願いも込めました。

つらかったことは? そしてそれを乗り越えることができたのはなぜですか?

山口さん： 被災地で暮らす人たちの苦労を思うと、自分のことでつらいと思ったことはありません。岐阜に引き取った犬たちを連れて福島へ里帰りをすることがありますが、そういう時、飯舘村のみなさんが心からの笑顔で喜んでくれます。そうしたことが、励みになっていました。

上村さん： 一緒に試験を受けて、10回も不合格となっていたので、あせりやプレッシャーは少しありましたが、つらくはありませんでした。それは「じゃがいも」が試験を受けるたびに、少しずつでも成長した姿を見せてくれたからです。そのことが私の喜びで、がんばり続けることができました。また、多くの方がずっと応援してくださったことが、大きな力になりました。

これからの目標や夢は何ですか?

これからも、「じゃがいも」とともに、福島の復興を応援していくことが目標です。震災から6年が経ちましたが、まだまだ復興にはほど遠い被災地の現状に目を向けてもらえるように、活動を続けていきます。そして、災害救助犬や介助犬の育成と広報活動を通して、動物と人が「共生」できる社会をつくりあげていくことが夢です。

岐阜市の子どもたちにひとことメッセージをお願いします。

「命」の大切さを感じ、考えてほしいです。犬も猫も、人も同じ一つの「命」です。そのことを忘れないでください。もう一つは、あきらめないことです。「じゃがいも」の今回の合格まで、10回の不合格がありました。岐阜市のみなさんにも目標をもって、あきらめることなくチャレンジし続けてほしいです。

「じゃがいも」は、いつ起こるかわからない災害に備えて、これからも厳しい訓練をし続けるそうです。合格はゴールではなくて、スタートなのだと感じました。「じゃがいも」についてもっと知りたいと思った人は、『被災犬「じゃがいも」の挑戦』（岩崎書店）をぜひ読んでみてください。命のこと、被災地のことを考える絶好の一冊です。

平成28年度 家庭市民教育啓発運動「決めて、守ろう!（我が家のルール）」優良賞作品

優良賞
我が家のルール「おふろでのルール」
矢口 陽斗（やぐち はると）（平成二十八年度 三輪南小学校 6年）

我が家のルールは「おふろはできるだけだれかといっしょに、時間を空けずに入ろう」です。

これはルールというか、むかしから自然にそうしてきたことです。時間がバラバラだと、せっかく温かいお湯が冷めてしまい、またわかし直すことになり、もったいないからです。ぼくのお母さんは、いろんなことで節約を心がけているので、家族もできるかぎり協力しています。

また、だれかといっしょにおふろに入ると、その日一日の出来事やテレビの話、今度の休みはどこへ行こうかなどの会話ができて楽しいです。いそがしいお父さんとおふろでゆっくり話したり、お互いの背中を洗い合ったりしています。

小さい時からずっとこうやってきました。最近は、一人で入ることもあるけど、ずっと続けていけたらいいなと思います。

優良賞
我が家のルール「『いってらっしゃい』のおまじない」
岡本 薫夜（おかもと かぐや）（平成二十八年度 岩野田北小学校 5年）

わたしの家族のルールは、お父さんが仕事に行くときに家族全員で、げんかんに出て「いってらっしゃい」と言うことと、全員でタッチをすることです。その意味は、「元気を付けて」という意味と「安全にかえってきてね」というおまじないみたいなものです。朝、ごはんを食べているときでも、おもしろいテレビがやっていても、お父さんが「行ってきます」と言ったら、全員げんかんにあつまってやります。お父さんがいそがしい時もやるので、大あわてでやる時もあります。

わたしが赤ちゃんの時からやっていることなので、これからも続けたいです。

優良賞
我が家のルール「おじいちゃんへのお参り」
桜木 成夢（さくらぎ なるむ）（平成二十八年度 三輪北小学校 5年）

ぼくのお家では、ごはんを食べる前に必ずだんの前で、お参りをします。これは、ぼくのお母さんが子どものころからやっているんだそうです。なぜ、お参りをするかというと、先祖を大切にしたいからです。

今日も一日元気にすごせたことや、おいしいごはんが食べられることなどに感しゃして、お参りをします。

ぼくはいつも、おじいちゃんがいると思って、「今日の給食はカレーだったよ。」や「運動会、がんばるよ。」などと話しかけています。おじいちゃんと心がつながっているので、「がんばってね。」と声が聞こえてきます。

ぼくは、おじいちゃんとの時間を大事にしたいので、これからもお参りを続けていきます。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。"家族でふれあう時間を大切にしましょう!"

中央青少年会館 講座レポート!

親子で体験講座（小中学生と保護者）

7/23(日) 親子でチャレンジ! 伊自良川で川遊び

モロコやハヤ、ドジョウなどの魚をつかまえて観察することができました。たくさんの貴重な生き物がすむ美しい川をこれからも守りたいです。

地域貢献スキルアップ講座（中高生）

7/25(火) 知っている人は強くて優しい。障がいのある方との交流

車いすに実際に乗ってみて、補助がなければ少しの段差でものぼるのが難しいことがわかりました。また、障がいのある方とお話しするなかで、笑顔でふれあうことの大切さを感じました。これからも、障がいのある方の思いに寄りそって手助けしたり、ふれあったりしたいです。

マイチャレンジ講座（小学3年生~6年生）

7/21(金) 外国の人とふれあおう

アメリカや中国、フィリピンの講師の先生から、それぞれの国の文化や歴史、人々の暮らしなどについて学びました。外国語で挨拶をしたり、歌を歌ったり、その国独特の遊びを実際にしたりしました。最後には、けん玉やお手玉など日本の遊びを一緒に楽しみました。

9/3(日) カブト・クワガタのひみつにせまれ

講師の先生が育てた国内や海外の貴重なカブトやクワガタを見せてもらいました。外来種の問題についても学ぶことができました。もらった幼虫は責任をもって大切に育てたいです。

編集後記

生き物とふれあったり、育てたりするなかで、生命の尊さや成長の喜び、そして別れの悲しさを感じたことがある人は多いと思います。生き物は、人の心をあたたかくし、多くのことを教えてくれる本当にかけがえのない存在です。だから、飼っている生き物でも自然の中にいる生き物でも、決して人間だけの都合で苦しめてはいけません。犬や猫も、魚もカブトムシも、共に生きる大切な「仲間」です。そういう思いで、身の回りの生き物をあらためて見つめてみてください。それだけで、世界が少しちがって見えますよ。

第49号 平成29年11月15日発行
編集・発行
岐阜市教育委員会
中央青少年会館
〒500-8813 岐阜市明徳町11番地
TEL/FAX 058-266-5134

語り合おう夢! 活かそう力!

小中学生のための地域情報発信誌

egg（えぎふっ子げんきエッグ）

egg マスコットキャラクター いのくっち

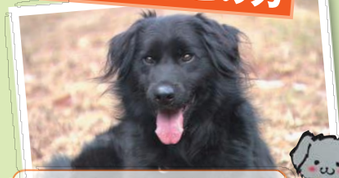
岐阜市青少年国際教育夢プロジェクト事業
夢inタイランド 8月18日~25日

マンゴーの植樹

夢in タイランド
Dream Project 2017 Gifu City

ホームステイ先の仲間と

この地からこの力



災害救助犬 じゃがいも
NPO法人日本動物介護センター
山口 常夫さん（理事長・訓練士）
上村 智恵子さん（訓練士）

地域で輝く小中高生

岐阜市第4ブロック 青年国際交流会
9月10日(日) 市橋コミュニティセンター

地域を支える力になる!

厚見中・加納中・境川中・島中・精華中・陽南中・聖徳学園高校・済美高校から100名近いボランティアが参加しました!

特集

人にも動物にもやさしい社会をめざして

人と動物の共生社会

vol.49 2017.秋号

岐阜市発 情報発信誌

eggのホームページにアクセスしよう!
デジタル egg 検索

岐阜市ホームページ http://www.city.gifu.lg.jp/

発行 岐阜市教育委員会 中央青少年会館